



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 2702 URL <http://www.mcd-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) 原 田 泳 幸
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部上席部長 (氏名) 重 田 正 教 (TEL) 03-6911-6000
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	77,201	△0.4	7,221	△4.2	7,492	2.3	4,282	112.4
23年12月期第1四半期	77,496	△10.4	7,537	△26.0	7,327	△27.7	2,015	206.3

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 4,284百万円(112.6%) 23年12月期第1四半期 2,015百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	32.21	—
23年12月期第1四半期	15.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	212,502	162,142	76.2
23年12月期	222,029	161,787	72.8

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 161,983百万円 23年12月期 161,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	153,000	3.3	14,900	1.5	14,500	0.6	8,100	37.0	60.92
通期	305,000	0.9	29,400	4.3	28,400	2.9	16,000	20.3	120.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期1Q	132,960,000株	23年12月期	132,960,000株
24年12月期1Q	703株	23年12月期	703株
24年12月期1Q	132,959,297株	23年12月期1Q	132,959,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は、概ね終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、東日本大震災後の内食及び中食志向の高まりによる外食市場の縮小や原材料価格の上昇等、当社グループにとって厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは引き続きQSC(信頼の品質、スピーディーで心地よいサービス、清潔で快適な環境)をベースとした商品戦略、店舗開発戦略を中心に実施し、収益力の強化に努めてまいりました。また、投資効率の高い支出に経営資源を集中する等、一層の経営管理に努めました。

<商品戦略>

商品戦略といたしましては、Big Americaシリーズや、てりたまバーガーなど定番の人気商品を継続的に展開し、安定的に売上高を獲得する一方、リニューアルでさらに「プレミアム」になったプレミアムローストコーヒーや、全てのサイズのポテトを150円で販売するなど、新規のお客様が来店していただける機会の創出に努め、既存店客数対前年同期比は5.5%増加となりました。また、ドライブスルー限定のセットメニューや、朝の時間帯のコンビメニュー(サンドイッチとドリンクのセット)の充実など、販売形態や時間帯別のニーズに合った商品を展開し、更なる売上強化に努めてまいりました。

<店舗開発戦略>

収益性の高い郊外型の大型ドライブスルー店舗を中心に新規出店を行いました。既存店についても厨房のキャパシティを拡大し、お客様に全ての商品を高い品質で提供するための基盤作りを進めました。また、お客様のお気に入りの食事の場となるよう、店舗のデザインはグローバルデザインを取り入れ、集客力の高い店舗を作りました。

<フランチャイズ化戦略>

日本マクドナルドシステム全体の投資戦略に基づき、フランチャイジーのキャッシュ・フローの状況を勘案した上で、適切なスピードで推進いたしました。また、投資計画に対する適切なコンサルティングを通じて、フランチャイジーのキャッシュ・フローの向上に努めてまいりました。

<経営成績>

上記戦略の結果、システムワイドセールスは主に大型ドライブスルー店舗を中心とした新店舗による売上高増が貢献し、前年同期比で58億38百万円増加(前年同期比4.4%増加)いたしました。売上高はフランチャイズ化等による減少要因があったものの、1店舗あたり売上高の増加や、既存店売上高の増加(前年同期比2.0%増加)により772億1百万円となり、前年同期比で微減にとどまりました。経常利益につきましては、適切に経費管理を行ったことによる一般管理費の減少が店舗運営事業売却益の大幅な減少を吸収し、74億92百万円(前年同期比1億64百万円増加)となりました。四半期純利益は前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額や、東日本大震災に伴う災害による損失及び災害損失引当金繰入額がないことから、42億82百万円(前年同期比22億66百万円増加)となりました。

(注) 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗を対象店舗として、その店舗の売上高を当年と前年それぞれ合計して比較したものです。

(注) システムワイドセールスは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、四半期連結損益計算書に記載されている売上高と一致しません。

(参考)店舗数の推移

区分	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	区分移行(注)		当第1四半期 連結会計 期間末
				増加	減少	
直営店舗数	1,269店	5店	△3店	5店	—	1,276店
フランチャイズ 店舗数	2,029店	6店	△8店	—	△5店	2,022店
合計店舗数	3,298店	11店	△11店	5店	△5店	3,298店

(注) 上記区分移行には、BFLエクササイズにより売却した店舗を含んでおりません。

BFLエクササイズとは、BFL契約(Business Facilities Lease契約；フランチャイジーが日本マクドナルド株式会社から店舗及び設備等を賃借して店舗運営を行う契約形態)のフランチャイジーが、日本マクドナルド株式会社へ申請することにより、同社の審査を経てコンベンショナル契約(フランチャイジーが店舗用設備を購入して店舗運営を行う契約形態)へ移行することです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の分析)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は738億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億30百万円の減少となりました。これは、マクドナルド・コーポレーションへのロイヤルティーの支払等が要因です。

固定資産は1,386億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億95百万円の減少となりました。これは、ソフトウェアの減価償却等により7億94百万円減少したこと、敷金及び保証金の回収等により6億58百万円減少したことが主な要因です。

流動負債は391億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ99億36万円の減少となりました。これは未払法人税等が38億70百万円減少したこと、未払金が36億99百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は112億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円の増加となりました。これは賞与引当金が67百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の通期の業績予想につきましては、平成24年2月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,433	39,997
売掛金	10,267	9,295
有価証券	33,697	14,697
原材料及び貯蔵品	1,101	1,113
その他	7,820	8,785
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	81,307	73,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,461	36,633
機械及び装置（純額）	8,041	7,767
工具、器具及び備品（純額）	4,915	4,633
土地	17,383	17,383
リース資産（純額）	3,790	3,810
建設仮勘定	326	522
有形固定資産合計	70,919	70,751
無形固定資産		
のれん	963	980
ソフトウェア	7,719	6,925
その他	757	757
無形固定資産合計	9,440	8,663
投資その他の資産		
敷金及び保証金	52,118	51,460
その他	9,029	8,533
貸倒引当金	△785	△782
投資その他の資産合計	60,362	59,210
固定資産合計	140,721	138,625
資産合計	222,029	212,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,487	7,523
未払金	19,071	15,372
未払法人税等	6,940	3,069
賞与引当金	1,848	1,341
災害損失引当金	189	176
その他	12,526	11,643
流動負債合計	49,064	39,127
固定負債		
長期借入金	500	500
賞与引当金	115	182
退職給付引当金	1,727	1,740
役員退職慰労引当金	192	198
資産除去債務	4,776	4,819
その他	3,866	3,792
固定負債合計	11,178	11,232
負債合計	60,242	50,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	100,477	100,770
自己株式	△1	△1
株主資本合計	166,713	167,007
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△5,082	△5,023
その他の包括利益累計額合計	△5,082	△5,023
少数株主持分	155	158
純資産合計	161,787	162,142
負債純資産合計	222,029	212,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	77,496	77,201
売上原価	60,976	60,962
売上総利益	16,519	16,238
販売費及び一般管理費	8,982	9,017
営業利益	7,537	7,221
営業外収益		
受取利息	42	65
未回収商品券収入	43	45
受取補償金	8	34
受取保険料	—	268
貸倒引当金戻入額	—	3
その他	85	65
営業外収益合計	179	481
営業外費用		
支払利息	22	24
貸倒引当金繰入額	65	—
店舗用固定資産除却損	268	157
その他	32	28
営業外費用合計	389	210
経常利益	7,327	7,492
特別利益		
移転補償金	56	—
特別利益合計	56	—
特別損失		
固定資産除却損	56	43
固定資産売却損	12	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,014	—
災害損失引当金繰入額	378	—
災害による損失	488	—
特別損失合計	3,951	44
税金等調整前四半期純利益	3,432	7,447
法人税等	1,416	3,162
少数株主損益調整前四半期純利益	2,015	4,284
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	2
四半期純利益	2,015	4,282

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,015	4,284
四半期包括利益	2,015	4,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,015	4,282
少数株主に係る四半期包括利益	△0	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。